

## 第3回 越前市子ども・子育て会議

日時：令和5年11月20日（月）午後7時

会場：越前市生涯学習センター1階eホール

### 1 開会

会長あいさつ

### 2 会議

#### (1) 議事

こども計画に係るニーズ調査の調査項目について

資料

#### (2) その他

### 3 閉会

**資料**

(仮称)越前市こども計画に関するニーズ調査の概要について

1 ニーズ調査の目的

- ・越前市では、こども基本法の成立に伴い、国が定める「こども施策に関する大綱」及び「都道府県こども計画」を勘案し、子ども施策について定めた「(仮称)越前市こども計画」を令和7年3月に策定予定である。また、同法の目的を越前市子ども条例に反映し、見直しを図る必要がある。子ども、若者及び子育て家庭のニーズを把握し、(仮称)越前市こども計画に反映させるため、ニーズ調査を実施する。

2 調査方法と調査期間

- ・郵送・QRによる配付・回収
- ただし、3のニーズ調査③については、学校を通じて子どもとその保護者に調査を依頼する。
- ・令和6年1月上旬～2月中旬

3 ニーズ調査の種類

- ① 子ども条例に関する調査
- ② 子ども・子育て支援に関する調査
- ③ 子どもの生活に関する調査
- ④ 子ども・若者の意識に関する調査

4 ニーズ調査対象者

調査数		対象者 令和5年11月1日現在、越前市に住民登録のある人				
		就学前児童（0歳～5歳）の保護者	就学児童（小学1年生・小学3年生）の保護者	小学5年生、中学2年生の保護者	小学3年生、小学5年生、中学2年生の子ども	15歳～39歳の若者本人
		900人 (うち外国籍60人) ※ 各年齢150人 (うち外国籍10人)	300人 (うち外国籍20人) ※ 各年齢150人 (うち外国籍10人)	小5 673人 中2 715人	小3 699人 小5 673人 中2 715人	1,200人(※)
(参考)		0歳～5歳の児童数 1,754人	小1 645人 小3 699人	小5 673人 中2 715人	小3 699人 小5 673人 中2 715人	住民基本台帳人口 9,841人
ニーズ調査 ①	子ども条例	●	●	●	●	●
ニーズ調査 ②	子ども・子育て支援	●	●			
ニーズ調査 ③	子どもの生活(貧困)			●	●	
ニーズ調査 ④	子ども・若者の意識調査					●

※対象者は、15歳から22歳まで、23歳から30歳まで、31歳から39歳までの各年代から各400人を抽出する。

【参考】 前回調査状況（ニーズ調査②と③のみ）

・ニーズ調査②

子育て支援に関するニーズ調査  
調査期間 平成30年11月16日～12月28日

対象	配付数 (うち外国籍)	有効回答数 (うち外国籍)	回収率 (外国籍)
就学前児童（0歳～5歳）	1,850人 (80人)	1,258人 (39人)	68.0% (48.7%)
就学前児童（小学1年～4年生）	650人 (30人)	435人 (16人)	66.9% (53.7%)
合計	2,500人 (110人)	1,693人 (55人)	67.7% (50.0%)

・ニーズ調査③

子どもの生活に関する実態調査  
調査期間 平成30年5月28日～6月11日

対象		配付数	有効回答数	回収率
保護者	年長	678人	562人	82.9%
	小学5年生	763人	489人	64.1%
	中学3年生	835人	492人	58.9%
子ども	小学5年生	763人	486人	63.7%
	中学3年生	835人	492人	58.9%
合計	保護者	2,276人	1,543人	67.8%
	子ども	1,598人	979人	61.3%

越前市総合計画（計画体系 平成 30 年度～平成 33 年度）

越前市地域福祉計画（平成 31 年度～平成 35 年度）



越前市次世代育成支援対策推進行動計画  
前期計画  
（平成 17 年度～平成 21 年度）  
後期計画  
（平成 22 年度～平成 26 年度）



子ども・子育て支援計画  
（平成 25 年度～平成 31 年度）

子ども・子育て支援事業計画  
（平成 27 年度～平成 31 年度）



子ども・子育て支援計画  
（第 2 次）  
子ども・子育て支援事業計画  
（第 2 期）  
（令和元年度～令和 6 年度）

主な関連計画

越前市人口ビジョン・総合戦略

越前市多文化共生推進プラン

越前市男女共同参画プラン

越前市健康 2 1 計画

越前市障がい者計画

越前市食と農の創造ビジョン  
コウノトリが舞う里づくり戦略

越前市教育振興ビジョン

越前市子ども読書活動推進計画

越前市スポーツ推進プラン

越前市公共施設等総合管理計画

越前市子どもの未来応援計画  
（平成 30 年度～平成 36 年度）

越前市ひとり親家庭自立支援計画  
（平成 26 年度～平成 32 年度）

越前市幼保一体化推進計画  
（平成 25 年度～平成 28 年度終了）



資料 ①子どもの条例に関する調査

調査対象者	保護者	子ども・若者_(小3、小5、中2)	子ども・若者_(15歳から39歳の若者向け)
調査項目	1 「子ども基本法」を知っているか。	「子ども基本法」を知っているか。	「子ども基本法」を知っているか。
	2 こどもの権利について知っているか。	こどもが意見を表明する権利を持っていることを知っているか。	こどもが意見を表明する権利を持っていることを知っているか。
	3 子どもの権利が守られているか確認するには何が必要か。	自分の権利が守られていると思うか。	こどもの時に自分のこどもの権利が守られていたと思うか。
	4 こどもの意見を子どもの発達に応じて十分に考慮しているか。	あなたの意見を相手に伝えるときにどのような方法・手段が伝えやすいか。	あなたの意見を相手に伝えたときにどのような方法・手段で伝えていたか。
	5 地域活動や市政運営でこどもの意見を聞くことは大切だと思うか。	誰にあなたの意見を伝えていきますか。	あなたの意見を誰に伝えていましたか。

資料 ②子ども・子育て支援に関する調査

③子どもの生活に関する調査 ※就学前児童の保護者、就学児童（小学1年生、小学3年生）の保護者

調査対象者	5歳以下の保護者		小学生(1年生, 3年生)の保護者	
基本調査	1	住居地(地区)	1	住居地(地区)
	2	子どもの年齢	2	子どもの年齢
	3	兄弟の数	3	兄弟の数
	4	回答者の続柄	4	回答者の続柄
	5	回答者の配偶者の有無	5	回答者の配偶者の有無
	6	子育て(教育を含む)を主に行っている人	6	子育て(教育を含む)を主に行っている人
	7	子育てに関わっている人(施設)		
	8	手当・援助等の受給状況	7	手当・援助等の受給状況
	9	家計の収支状況	8	家計の収支状況
	9-1	総合的にみた暮らしの状況	8-1	総合的にみた暮らしの状況
子育て環境			9	保護者の学歴
	10	日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無	10	日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無
	11	子育てをする上で大変なこと、悩んでいること	11	子育てをする上で大変なこと、悩んでいること
	12	子育て(教育を含む)をする上で相談できる人・場所の有無	12	子育て(教育を含む)上相談できる人・場所の有無
	12-1	誰(どこ) 選択肢②③で要検討	12-1	誰(どこ) 選択肢②③で要検討
	13	ヤングケアラーを知っているか	13	ヤングケアラーとは何か知っているか
	13-1	知っている場合、どこで知ったか	13-1	知っている場合、どこで知ったか
	14	身近な家庭でヤングケアラーと思われる子を知っているか	14	身近な家庭でヤングケアラーと思われる子を知っているか
14-1	ヤングケアラーを把握したとき、誰に相談するか	14-1	ヤングケアラーを把握したとき、誰に相談するか	
就労保護者状況の	15	子育て(教育を含む)上周囲(身近な人、行政)からのサポートについて(自由)	15	子育て(教育を含む)上周囲(身近な人、行政)からのサポートについて(自由)
	16-1	保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)	16-1	保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)
	16-2	1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間	16-2	1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間
	17-1	就労したいという希望の有無(16で就労していないと回答した方のみ)		
17-2	フルタイムか、パート(1週何日、1日何時間)			
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	18	幼稚園や保育園などの利用の有無		
	18-1	年間を通じて定期的に利用している事業		
	18-2	利用は1週何日、1日何時間		
	18-3	利用していない理由		
登園制限も	19	利用の有無にかかわらず利用したい事業は		
	20	子ども誰でも通園制度が創設された場合の利用希望 したい/したいと思わない したいとき 週何日		

調査対象者		5歳以下の保護者		小学生(1年生, 3年生)の保護者
病気の対応	21	子どもが病気がけで教育・保育事業が利用できなかったことの有無		
	21-1	対処方法、日数		
	21-2	病児病後児施設利用希望の有無		
	21-3	利用したくない理由		
う業、育不定期 一宿泊保育の 預泊を伴 かり教	22	定期的な保育、病気以外で不定期に利用している事業		
	22-1	利用していない理由		
	23	利用希望の有無 日数(目的別)		
	24	保護者の用事で泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないときに預け先に困った有無 日数		
業教 土 の育休日 利用・暇休 用保中 状育の長 況事 期	25	日祝日の希望の有無		
	26	幼稚園利用者の長期休暇の希望の有無		
のて地 利支域 用援の 状事子 況業育	27	子育て支援センターの利用の有無		
	28	市が実施している事業の認知、利用の有無、利用の希望		
の子 進ど 学も			17	子どもの進学の希望
			17-1	親の希望通りに進学すると思うか
			17-2	思わない場合の理由
就 学 後 の 放 課 後 の 過			18	子どもの塾や習い事の有無
			18-1	1か月あたりの費用
			18-2	習い事をしていない理由
			19	放課後過ごす場所、週何日、児童クラブ何時まで
			20	4～6年生になったら、放課後の希望場所、週何日
			20-1	児童クラブ希望する理由
			21	土日祝日の児童クラブ利用希望
			22	長期休暇中の児童クラブ利用希望
職 場 の 両 立 支 援 制 度	29	父母の育児休業取得の有無		
	29-1	取得していない理由		
	29-2	育児休業取得後職場復帰の有無		
	29-3	職場復帰は、保育所入所のタイミングか		
	29-4	実際の職場復帰した時の子の月齢		
	29-5	希望より早く復帰した理由、遅くした理由		
どれ越 もま前 ので市 施のの 策子こ	30	越前市が子どもを産みやすい環境と思うか	23	越前市が子どもを産みやすい環境と思うか
	31	越前市が子どもを育てやすい環境と思うか	24	越前市が子どもを育てやすい環境と思うか
	32	子育てに関する不安や負担	25	子育てに関する不安や負担
	33	子育て環境や支援に関する意見(自由)	26	子育て環境や支援に関する意見(自由記述をまとめる)

前回34項目→今回33項目(+子ども条例5項目) 38項目

前回20項目→今回26項目(+子ども条例5項目) 31項目

資料 ③子どもの生活に関する調査

調査対象者		小学5年生、中学2年生の保護者	調査対象者		小学生(3年生,5年生)、中学2年生
基本調査	1	住居地(地区)	基本調査	1	住居地(地区)
	2	子どもの学年		2	子どもの学年
	3	18歳未満の子どもの数		3	兄弟の人数
	4	回答者の続柄	放課後の過ごし方	4	放課後誰と過ごすか
	5	回答者の配偶者の有無		5	放課後過ごす場所
	6	手当・援助等の受給状況		6	集中して勉強できる場があるか
	7	家計の収支状況		7	勉強がわからない時に聞く相手
	7-1	総合的にみた暮らしの状況		8	塾や習い事の有無
8	保護者の学歴	9	やってみたい習い事		
子育て環境	9	子育てをする上で大変なこと、悩んでいること	悩み	10	悩んでいることがあるか
	10	子育て(教育を含む)上相談できる人・場所の有無		11	悩みや心配事の相談相手
	10-1	誰(どこ) 選択肢②③で要検討	子育て環境(小5以上)	12	世話をしている家族はいるか →いる場合以下回答
	11	ヤングケアラーという言葉を知っているか		12-1	世話が必要な人
	11-1	知っている場合、どこで知ったか		12-2	世話が必要な人の状況
	12	身近な家庭でヤングケアラーと思われる子を知っているか		12-3	世話の内容
	12-1	ヤングケアラーを把握したとき、誰に相談するか		12-4	世話を一緒にしている人
				12-5	開始年齢
				12-6	世話の頻度
				12-7	世話の時間
		12-8	やりたいけど、できていない事		

調査対象者		小学5年生、中学2年生の保護者	調査対象者		小学生(3年生,5年生)、中学2年生
子どもの進学	13	子どもの進学の希望	子育て環境(小5以上)	12-9	世話をすることのきつさ
	13-1	親の希望通りに進学すると思うか		12-10	相談したことの有無
	13-2	思わない場合の理由		12-11	有→相談相手
				12-12	無し→相談しない理由
				12-13	→話相手の有無
				13	学校や大人に助けて欲しい事
				14	ヤングケアラーの自覚
				15	ヤングケアラーという言葉を知っているか
				15-1	→知っている場合：どこで知ったか
就学後の放課後の過ごし方	14	子どもの塾や習い事の有無	子どもの進学(小5以上)	16	子どもの進学の希望
	14-1	1か月あたりの費用		16-1	希望通りに進学すると思うか
	14-2	習い事をしていない理由		16-2	思わない場合の理由
自由記載	15	自由意見	自由記載	17	自由意見

前回26項目→今回15項目(+子ども条例5項目) 20項目

前回22項目→今回17項目・小3:12項目(+子ども条例5項目)  
22項目・小3:17項目

資料 ④子ども・若者の意識に関する調査

調査対象者	15歳～39歳の若者	
基本調査	1	性別
	2	年齢
	3	婚姻状況
	4	最終学歴（学生は現在在学している学校）
	5	現在の仕事
	6	就業経験
（ウイング） 幸せの実感	7-1	現在の幸福感について
	7-2	幸福感を感じる状況
	7-3	幸福感を感じない理由
	8	幸せに生活するために必要なこと
	9	子どもの頃描いていた将来像と現状
	10	越前市で学ぶ・働くことへの魅力
自分の居場所	11-1	自分の居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）の有無
	11-2	自分の居場所はどこか、複数あるか。
	11-3	自分の居場所となっている理由
	11-4	自分の居場所がない理由
人とのつながり	12	現在の孤独感について
	13	一番つながりを感じる人について
	14-1	これまでに社会生活等を円滑に送ることができなかった状況の有無
	14-2	14-1を経験した主な原因
支援体制	15-1	社会生活等を円滑に送ることができなくなった場合の相談先について
	15-2	誰にも相談できない理由
	16	子ども・若者を対象とした育成支援機関等の認知
	17	育成機関等のニーズについて
	18	市などの実施する青少年育成・社会教育行事への参加経験
業・教育不 一時宿・定期 預泊・保育の かりを伴事教	19	育成支援機関等に関する広報手段について